有形文化財　美術工芸品／市指定

とうぜんじもくぞうやくしにょらいりつぞう

東漸寺木造薬師如来立像

東漸寺の薬師如来像は像高 121.5cm の立像である。両手首先が後世の補作にかわるものの、檜と思われる一材で全体を作り上げ、制作当時の姿を十分に伝えている。

制作の時期は、細部の検討から鎌倉～南北朝時代（14世紀）頃のものである。その後、江戸時代には像の軽量のためか体内が内刳りされており、その修理は正徳4年（1714）に施されたことが体内の残された墨書より明確である。さらに、本像については、江戸時代に編纂された『田舎廻 六』に記述があり、行基作との伝承が記されている。

本像は、佐世保市相浦地域に点在する山城群、特に武辺城跡との歴史的関連性が強く、中世期の動乱する中における「信仰」を物語る上で、極めて重要な像である。

住 佐世保市中里町 東漸寺境内

TEL 0956-47-2544

P あり

交 市営、西肥バス 中里バス停

案 要申込

休 ―